

私達は、自分達が楽しみ、周囲が喜ぶ活動を目指しています

ふるさと食農ほんわかネット情報誌

2021年(令和3年)3月15日発行

(E-mail:takaki-masami@outlook.jp)

育ててくれてありがとう！

感謝の言葉しかありません

高木正三(ドリーム編集長)

物事には必ず始めと終わりとがある。会者定離えしやじょうり(会うものは必ず分かれる運命にある。この世は無常である)…など理屈では解っているつもりだったが、今になるとやはり寂しい。

九州農政局勤務時代、「村起こし」「街の活性化」などの仕事に就きながら、自分起こしはできているのか？自分自身の活性化は？悩んでいた。その時相談したのが農家のおばちゃん達だ。彼女たちは強引(面白半分)に「馬鹿者」の背中を押し「ドリーム」の発行を勧めてくれた。グリーンツーリズム(GT)のブームもあり、GTの先駆者、農家民宿、農家レストラン…未来を夢見る人たちが読者となった。夜、農政局の印刷機でコッソリ印刷し100名限定の読者に無料で送り続けた。途中、東京への異動が決まった時、読者が知恵を出し合い、会費制、大雑把な約束ごとや役員(お世話係)も決め「ふるさと食農ほんわかネット」という組織の中での情報誌となった。特にゴーヤ洋子(佐藤洋子)さんが事務局長となり、発送作業を一手に引き受け原稿不足の時は即座に穴埋めした。このことが20年間ドリームを継続発行できた大きな要因である。また、我が子が障害を持っている関係から、この面で知り合った人たちも読者になり、障害児を持つ親の本音も伝えた。定年退職後は、地域社会のボランティアや公民館自主講座に参加したため、投稿内容が防犯や地域の行事、健康体操と続き、最近は高齢者の視点からの内容となった。3年前の「悪性リンパ腫闘病記」もあった。20年間で「お人持ち」と言う莫大な財産を築くことができた。この財産が私を育ててくれた。ありがとうございました。

- P 1 : 育ててくれてありがとう！(高木正三)
- P 2 : ドリームの卒業を祝して(徳野貞雄)
- P 3 : 同 上 (同 上)
- P 4 : 爺々放談その④(米原範雄)
- P 5 : 同上「読んで頂きありがとう」同上
- P 6 : 五島列島からのメッセージ②
- P 7 : 同上「火をつかうということ」小川邦夫
- P 8 : 若葉のお絵かきコーナー(藤門葉子)
- P 9 : ドリームとの思い出(藤門、松本)
- P 10 : ドリームありがとう(大串和紀)
- P 11 : 過去の記念切手(同上)
- P 12 : 都会のオアシス 109 (米山潔)
- P 13 : 雑報縄文のPR
- P 14 : 北の国から(牧場のハイジ)
- P 15 : 同 上 (同 上)
- P 16 : 同 上 (同 上)
- P 17 : ドリームに感謝(藤崎克生)
- P 18 : タツヨシの俳句コーナー(近藤龍良)
- P 19 : メッセージ(和泉やす子、平野フキ)
- P 20 : メッセージ(金ヶ江 誠)
- P 21 : メッセージ(木下先生、矢城美智子)
- P 22 : 星占い
- P 23 : 会計報告とお願い
- P 24 : メッセージ(戸谷亨)
- P 25 : メッセージ(竹原まゆみ)
- P 26 : どっこい、ドリーム続いていくよ
- P 27 : 同 上 (ゴーヤ洋子)
- P 28 : 同 上 (同 上)、吉岡慎一
- P 29 : 編集後記
- P 30 : 事務局便り

『ドリーム』の卒業を祝して！！

『ふるさと食農ほんわかネット』理事長 徳野貞雄

『ドリーム』は、よく頑張った。多くの愛読者も得ていたし、かなり気心の通じた仲間も獲得してきたミニコミ誌でした。高木正三編集長と佐藤洋子事務局長、ご苦労様でした。20年間、一月も休まず連続して244号まで刊行してきたことは、何よりも高く評価できると思います。



また、かなりの方から突然の『ドリーム』の休刊に対して、納得がいかないとの声も聞きました。しかし、2021年度に入り、高木さんや佐藤さんとも何度か話し合いました。その結果として『ドリーム』刊行の卒業を、以下のような理由でやむなしと結論を出しました。その最大の理由は、『ドリーム』刊行にともなう編集長の高木さんの身体のみならず、精神的な負荷と限界です。

隔月発行や季節刊行にすることなどの対案も考えました。が、しかし、「スッパリ」と休止を選びました。なぜならば、何らかの形で『ドリーム』を継続している限り、高木編集長の精神的緊張が解けないことが分かりました。これが、最大の理由です。

考えてみれば、ガンになって治療中も休刊せずに発行し続けた真面目な性格から、『ドリーム』を背負って20年生きてきたのだと思います。私も含め、我々は、高木さんと佐藤さんに「甘えすぎて来た」のかもしれない。ポチポチ、背中荷を降ろしてもらってもいいのではないのでしょうか。よって、『ドリーム』の卒業を祝いたいと思っています。



【今後の方向性について】

①『ドリーム』はなくなりますが、『ふるさと食農ほんわかネット』はなくなりません。今まで通り融通無碍の組織として存在していきます。分かりやすく言えば、『ふるさと食農ほんわかネット』の会員として、仲間と連絡を取り合ったり、会合を催したりすることを自由にしてください。副代表の井信行さんは「春になったら、コロナのいない阿蘇の産山でバーベキューしよう」と言っています。高木さんや佐藤さんも乗り気満々です。

②『ドリーム』とは別のコンセプトになるかもしれませんが、若い人達の中で、『ドリーム』的なミニコミ誌を考えていきたいという声も上がっています。若い世代を中心に、魅力的なコンセプトと編集・発行体制が出来ることを期待しています。➡「P24 どっこい、ドリーム、続いていくよ!」

③最後に、お願いが一つあります。『ドリーム』の累積赤字が20年度末で、132,044円あります。高木編集長は、この赤字を一人で個人的に被ろうと考えています。この方法は「よくない」と思っています。できれば、【会員一人当たり、3000円の拠出】で、この赤字を解消していきたいと思っています。そのために『ドリーム』の郵便為替01710-9-106451あてに、送金をお願いいたします。

以上、簡単ですが【『ドリーム』の卒業を祝して!!】という祝辞を送りたいと思います。『ふるさと食農ほんわかネット』理事長として初めての投稿が、この文章になりました。



高木さん、佐藤さん、そして皆さん、ありがとうございました。

2021年3月15日



爺々放談 その④

爺々放談 読んで頂きありがとう

米原範雄(熊本市沼山津在住)

この期に及んで寂しいとか、感傷にふけることは止めることにする。皆んなして前を向いて歩こう！と新しい1歩を踏み出したい。

ドリームを通じて、知り合いにさせて頂いた多くの投稿者の思い出を振り返ってみることにしたい。もとより失礼を省みずであるがお許しを頂きたい。的を得ていないところは、これまたお許しを頂きたい。

① 北海道の女性リーダー、高脇留美子さん。歯に衣着せぬ迫力ある文章展開は見事であり、病を克服されての強い意志が伺われる。北の国からのエピソードが懐かしい。ポロは元気かな！ピアノ挑戦、エライ！

② 倉淵の俳人、近藤龍良さん
お会いしたことがあり、その存在感に圧倒された記憶がある。俳句はもとより素晴らしいが「カミさん」との軽妙なやり取りは見事で、国会議員の先生たちに、とくと教えてやっていただきたい。私も俳句大好き！夏井いつき先生のファンである。

③ とても味わい深い文章で読む人を引き付ける東京の伊丹光則さん
「にりん草5」もとても面白かったが、マラソン完走記やアメリカ女子高生のホームステイ記は印象に残る名投稿のひとつ。

④ 都会のオアシスの米山潔さん

ソフトな面と理系特有のハードな理論展開は見事であり、『雑報縄文』とも重なり敬服するばかり。オチ研出身者とは驚き！ギャップあり。

⑤ ハマの万能ばあさん、平野フキさん
ご主人と万博に同行されてハグレてしまうも携帯電話無し。お互いに探し回ったエピソードは記憶に新しい。私が京都美山の記事を投稿した際には、とても懐かしい手紙を頂いた。

⑥ 沖縄の塩づくりの名人「小渡幸信さん」と五島の脱サラ塩づくり名人「小川邦夫さん」

今は五島の小川さんが「塩」についてのウンチクを詳しく述べられているが、その昔は沖縄の「小渡幸信さん」から、塩についての歴史など学ばせて頂いた。また、小川さんは「鯨」についての造詣も深く驚きである。

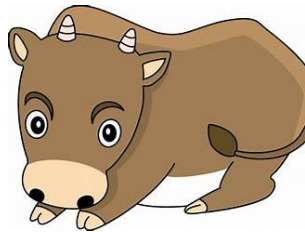
⑦ 農的暮らしの川口正志さん

食農ほんわかネット、ピッタリな小川さんの農的な暮らし。農業への造詣の深さは驚くばかりであった。教材にされている方も多かったのでは？また、川口さんは農業だけでなく、多才多能な方で今もってご縁を頂いている。奥様とお嬢様は著名な日本画家。

⑧ 産山の巨人、井信行さん

牛づくりの名人、全国ネットでも著名。国や熊本県を背負ってご活躍中。ふるさと食農ほんわかネットの副理事長。小さな政府の提唱者で弟さんは元産山村長。

とてもいい人に巡り合うことができた。



⑨ クラシックを通じ、熊本地震からの復興にかける坂本一生さん

今はコロナで人の集まりが制限される中で、相変わらず幅広く活躍中。クラシック界での人脈の広さに驚く。是非熊本にプロのオーケストラの実現を！

⑩ ソバ打ちや蜂蜜づくりなど多才を楽しむ農水省OBの牛島瑛明さん

私が、その昔在籍していた「園芸療法研究会」セミナーで講師の牛島さんと偶然お会いしたのがきっかけで、今のドリームにつながっている。これからもよろしくネ。

ここまで、私とドリームの縁の中から特に記憶に残っている方々を極く手短かに紹介させて頂いた。しかし、私とドリームを結び付けて頂いた最大の出会いはゴーヤー洋子さんであり感謝している。

徳野先生、編集長、事務局長との縁は私の人生の終盤に活力を与えて頂き感謝は尽きない。投稿の楽しさ、人との出会いの大切さなど、編集長と事務局長の名(迷)コンビ20年の語り草はきっと後世に残ることであろう。

高木さんのこと、このまま黙って野に下ることは考えられない。きっとまた何かをしでかして、頭をもたげることになるに違いない。楽しみにしている。

みんなで集まり、ハグをしあい、ハイタッチする「ご苦労会」を盛大に催したいと願っている。コロナよ！マスクよ！早くどこかに飛んでいっておくれ！

〒861-2102 熊本市東区沼山津 4-8-5

Tel/fax:096-369-2174

☆ 米原さんは私の家からも車で5分。今までの投稿でご存じのように何事にも興味津々。味方は多くても敵はいない米原さん。人の話を静かに聞き、いつの間にか余計なことまで喋らせる鉄人(哲人)。そしていつの間にか取り込まれている。

4年近く連続での投稿ありがとうございました。

五島列島からのメッセージ (NO. 22 最終号)

火を使うということ

小川邦夫 (五島のうみしお代表)

2000年に五島列島に移住した翌年、昔ながらの釜焚きによる塩づくりをはじめた。燃料は家屋解体や道路拡幅のときに出る廃材や伐採木。事業者がトラックで運んでくれる。処分費用とのかねあいでは料金はタダ。古い家屋に使われている松の梁などまだ使えるのに…と思うこともあるが、塩の燃料になってもらって成仏してもらおう…。そんな思いで塩を作っている。



逆転の発想

もともと、手間を考えれば割の合うものではない。運ばれてきた燃料をチェーンソーで切り、敷地の一角に積み上げる。さらに、必要な量だけ一輪車で工房に運び入れる。着火したのちも燃料の追加をしなければならない。火災の心配もあるので火を使っている間は気が抜けない。強風となれば操業ストップ。長雨が続けば燃料が濡れるので生産効率は著しく低下する。

しかし、そんな不便さも裏を返せば吉と出る。適度に体を動かすので運動不足の心配が



ない。強風や大雨となれば仕事は休み、「働き方改革」など無縁である。燃料の追加をしなければ操業は自動停止、作り過ぎや燃料浪費の心配がない。逆に災害でライフラインが寸断されても、燃料がある限り操業できる。火の用心と称して長時間の読書を楽しむこともできる。

これこそ晴耕雨読ではないか！な～んで密かに自負していたが、どうも最近雲行きが怪しい。頭の良い人たちが、やれ「温暖化だ！」やれ「炭酸ガスだ！」と騒ぎだしたからだ。彼らのイチ推しは太陽光や風力らしい。無尽蔵でしかも炭酸ガスを出さないからクリーンだという。しかし、人間は一体いつから自前で太陽光や風力を利用できるようになったのか？

たしかに、植物(樹木)は細胞内の葉緑体の働きによって、太陽光を取り入れて自らエネルギーを作り出すことができる。しかし、葉緑体をもたない人類にはそれはできない。よって、そんな植物を食べることでエネルギーを得て活動してきた。火を発見してからは、樹木や化石燃料を燃やし、そこからエネルギーを取り出し、高度な文明を築き上げたのではなかったか？



不可能を可能に？

「錬金術」という言葉がある。第一義的には、「化学的手段を用いて卑金属から貴金属(特に金)を精錬しようとする試み」である。起源は古代エジプトに遡り、万有引力の発見で知られるニュートンはじめ多くの科学者が挑戦した。しかし…「金の精製に成功!」との知らせが届くたびに、よくよく見ると必ずどこかの工程で金が紛れ込んでいた。(投じた金の量以上の金はできなかった。)
「錬金術」という言葉に「不可能を可能にみせる詐欺的手法」という意味合いがつきまとうのはそのためだろう。

昔のことと笑ってられない。太陽光や風力を利用できない人類がそれらを利用しようとすれ



ば、樹木や化石燃料の力を借りるしかない。太陽光パネルや風車の製造、それを設置するための土木工事など…。将来にわたり樹木や化石燃料を燃やし続ける必要があるはずなのだが、錬金術師たちは素知らぬ顔。

もっとも、住宅の屋根に太陽光パネルをのせて電力自給!と喜んでいる分はお愛嬌だが、国をあげて化石燃料の代替を目指すとなると話は別だ。目には見えぬが、太陽光も風力も地球上に様々な作用を及ぼしている。生き物の命や活動を支え、精緻な生態系を維持するのに欠かせない。人類がそのエネルギーの一部を仕事(物理学上の)に使えば、生態系に影響を及ぼすことは明らかだ。見えないから余計に厄介、気づいたときは手遅れだ。

人間は植物や動物の命を奪って生きている。なんとも罪深きは人間の業である。その罪深さから目をそむけ、殺生を他人や機械に委ねた結果が食べ残しの山である。人間は樹木を切り倒し、化石燃料を掘り起こし、火をつけ燃やさねば、食材を煮炊きし、暖をとることができない。その罪深さから逃れるため火を遠ざけ、錬金術に手を伸ばせば、さらに資源の浪費は進む。

人間の欲望に限りはないが、火を使っているうちは、雨や風といった自然の制約を受け、体力の限界にぶつかり、欲望は落ち着くところに落ち着く。火を使っていれば自ずと人間の業に向き合い、欲望が膨れすぎることはない。火を使っている人間であり、その限りにおいて人間は生態系の一部である、薪をくべながらそんなことを日々考える。

最後の2年間あまりをドリーム誌と共に歩むことができ、光栄です。書くことでいろいろな気づきをいただきました。今は感謝の気持ちで一杯です。高木編集長、事務局のゴヤー洋子さん、長い間お疲れ様でした。読者のみなさんもどうぞお元気で！五島の地よりエールを送ってお別れします。

小川邦夫さんへの連絡方法

熊本県庁を37歳で退職し長崎県の五島列島(上五島)にて製塩業

☎・ファックス: 0959-55-2780

メール: shioyanome@yahoo.co.jp

ブログ: 「五島のうみしお 島暮らしの風景」更新

☆ 小川さ〜ん! 必ず五島にあそびに行きま
すよ〜。道津さんと待っていて下さい!

若葉のお絵描きコーナー その③

2021年3月1日

若いつもりで若輩者の 藤門葉子



メッセージ

ドリームの大団円(ものごとが結末が欠けることなく完全に終わること。円満におさまること)にこの画をお届けします。

又、ドリームの卒業生のみなさんが新しい世界に船出される気持ちも込めてみました。誰がどの神様か？自分はこれだ！はお任せします。龍の船が大勢の神様を乗せてちょっと重たいなぁ～の顔をしています、頑張っって次の目的地まで運んでくれるでしょう。

熊本県八代市在住

こんにちは！ご無沙汰しております。長年、ほんわか新聞の編集長お勤め下さりお疲れ様でした。私たち楽しく読むだけの者でしたが高木さんの大変さには頭を下げる事しかできません。楽しませていただきありがとうございます。これからはお身体を大切にお過ごし下さい。

中島ミチヨ 0969-56-0542 (旅館「なかしま壮」 www.nakashimasou.com)

☆ 中島ミチヨさんはココファームで開催した「地域カフォーラム」に友達4名と参加されました。旅館は苦戦しています。若女将が頑張っています！なかしま壮へ行きましょう！

ドリームとの思いで

ドリームは日本全国からのお便りとして毎月楽しみに読んでいました。高木さんとのご縁で色々な体験をすることができました。

四国・馬路村の木下彰二さんとも永年のお付き合いになっています。お蔭さまで四国のアンパンマンミュージアムにも行き、アンパンマンホテルにも泊まり木下さんとも2度お会いすることができました。

前号の「にちりん草5」には今後の生き方が大いに参考になりました。私の住んでいる熊本県では60歳以上誰でも入学できる「さわやか大学」があります。私は八代高13回卒で「にちりん草5」の伊丹さんと同様、卒業して10年になります。何事にもいつかは区切りの時が来ます。それは又、新しい出発でもあります。高木さん、洋子さんも新しい高齢者の生き方のため邁進していただけますよう願っています。

いくつになっても若輩者を楽しむ藤門葉子

- ☆ 藤門葉子さんとは、障害を持つ妹さんが「江津湖療育園」に入所されておられて、その縁でお付き合いが始まりました。江津湖療育園の渡り廊下には、藤門さんの素晴らしい絵が多数展示されています。妹さんは天国に召されましたが、別途「高木さんとのご縁は妹(美波)が残してくれた何よりの財産でした。」とのメッセージを頂き、妹さんに感謝です。

「ドリーム」も店じまいですか。「かがり火」とほぼ同時期になりましたね。いつかはこういう日がやってくるのですから、残念ながら仕方ありませんね。

それにしても、途中で大病もされながら20年も続けられたのは大したものです。闘病について書かれた文章には随分と励まされました。「ドリーム」によって人とのつながりが広がり、人生がより豊かになりました。ありがとうございました。

松本克夫(川崎市在住)

- ☆ 日本経済新聞記者の経験があり静かに人の話を聞く松本さん。お喋り高木はその姿に感心と自分への戒めを感じていました。ドリームは廃刊になろうとも、東京でのドリーム読者OBの集いはやろうと思っています。お互いに大病した身体です。留意しながら過ごしていきましょう！東京での再会を楽しみにしております。

高木様 佐藤様

昨日、ドリーム2月号(243号)が届きました。そして、高木さんの「起承転結」を拝見しました。

来月号で廃刊とのこと、長い間ご苦労様でした。また、ありがとうございました。243号ですから、20年余。今から20年前は、ちょうど私が熊本に赴任した頃に当たります。

高木さんとは職場で出会い、また、佐藤さんとは宇根さんの会で出会い、それから20年間お付き合いいただきました。また、当時の同僚の皆様とも、同じドリームの読者という形で、この20年間お付き合いを保つことができました。このような交流を保てたのは、まさにドリームのおかげでしょう。改めてお礼を申し上げます。

当時、職場では諫早湾干拓、BSEや鳥インフルの発生、川辺川裁判と多くの難題を抱えていましたが、自然循環型農業、地産地消、食育の推進などの前向きな仕事にも楽しく取り組むことができたのは、同僚の皆さんのおかげでもありますが、多分にお二人の影響が大きかったのかもしれない。

ドリームは終わりますが、高木さんのことですから、じっとしておれないでしょう。新たな場での活躍を期待しております。洋子さんからは、「新しいミニコミ誌を発行予定」と聞いております。文章を書くのはお手の物でしょうから、こちらにも大いに期待しております。元気に頑張ってください。

添付しましたPDFは、洋子さんが毎月のドリーム誌送付のために封筒に貼ってくださった切手の一部です。毎号、いろいろな切手を貼っていただきましたので、これを楽しみにし、また大事にとっておりました。ドリームは廃刊となっても、今後ともお付き合いよろしく願い致します。

大串和紀(千葉市在)

- ☆ 本人紹介に「元農政局長」と書くことを嫌われていたのが大串和紀さんです。局長室で小さな鉢に稲を植えたり、メダカを飼ったりするいわゆる農家目線の人でした。初対面はゴーヤー洋子さん経営「山猫屋」でしたが、当時、私は農業者年金基金九州連絡事務所に出向していたため、直接の部下ではなかったため、忖度もゴマすりもありませんでした(笑)。このことが良かったのか、20年間もお付き合いいただき、また、「ふるさと食農ほんわかネット」の組織化を後押ししてくれました。出身地の佐賀に帰郷される時、熊本でゴーヤー洋子さんと3人で食事するのが楽しみです。



<都会のオアシス (109)>

廃刊に向けて

21-03-05

米山 潔

前号に今号で廃刊にすると記されていた。来る時が来た、と感じた。静かに振り返った。私が最初に投稿したのは9年前になる。当時、雑報「縄文」に「私の疑問」と題して連続投稿していた。50回を過ぎたところで、理屈から無縁の身の回りを記したいと縄文に「都会のオアシス」を投稿した。その頃に高木編集長が原稿集めに苦労していると聞き、これでも良いかと提供したのが始まりである。題名は「心のもちようで、どこにもオアシスはできる。」と言いたかった。その意味では「ふるさとと食農ほんわかネットの情報誌」とチョットだけ接点を感じた。しかし内容的に場違いの上こんな拙文で良いか、という疑問は続いていた。

だから、今年になって廃刊の噂話を聞くたびに、高木編集長にご迷惑をかけ続けていたであろうと、感謝と御礼の気持ちだけが残った。20年間発行できたことは大変な実績である。その功績にエールを送りたい。

今後、再刊の嬉しい動きもあろうと期待する。しかし、拙速を恐れる。次の失敗は致命傷になる。前号のp23に兄貴分の「縄文」が紹介されている。内容的に兄弟といえる。当面ここへの参加に集中して欲しい。兄貴分とはいえ、いずれ編集長と共に消える。その受皿の準備に入るのなら、ありがたいし希望する。いずれにせよ慌てるべきでない。

以下に「縄文」を私なりにご紹介したい。「ドリーム」と同じ月刊誌であるが、原稿が集まり過ぎて増刊が続いている。去年は約40回も発行してしまった。原稿が集まり過ぎというより、編集長が受け取った手紙・ハガキ類を全部原稿にしてしまうし、それが許されるという独特な雰囲気をもっている。250円/月で維持できる訳がない。当然、赤字続きである。ようやく近く読者の値上げ要請に応じてくれるようだ。

米山さんのメールアドレス : kyon123@jcom.home.ne.jp

スマホだって乗り換えができる！

ましてやミニコミ誌の乗り換えなんて！

30年間で580号発行

ミニコミ誌『雑報縄文』

今月のドリームサヨナラ特集号には多くの読者の方々から「20年間もご苦労さま」との便りをたくさんいただいた。ところがどっこい！上には上がっているもんだ。30年だよ、30年！

創刊が1991年。30年間で580号発行しているミニコミ誌『雑報縄文』

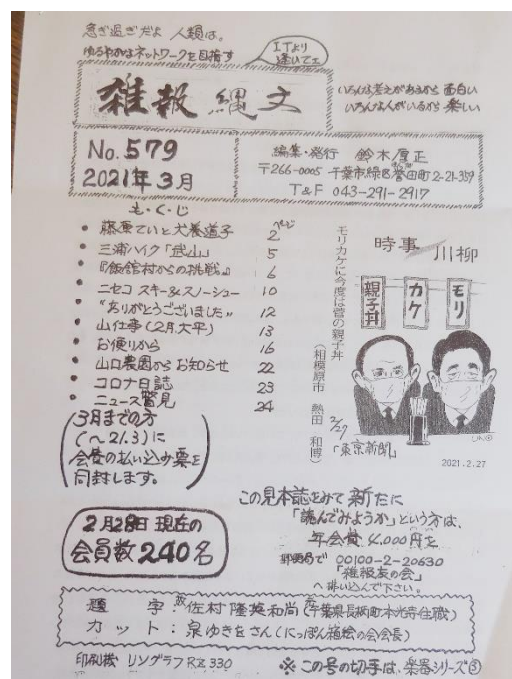
そのキャッチフレーズがいいねえ～「急ぎすぎだよ人類は。ゆるやかなネットワークを目指す」、「ITより逢いてえ」。パソコンを使い慌てすぎる(急ぎすぎる)私へのイエローカードみたい(笑)。

B5判24～26ページ。自分で印刷したペーパーをホチキスで綴じただけの簡便なもの。発行者は昭和13年生まれのおジィサン(アッ!ゴメン)。千葉県誉田町に住む農林水産省の先輩・鈴木厚正さん。内容は常連(米山潔さんもゴージャ洋子さんも含む)の投稿に始まり、読者からのお便りとそれに対する返事。ボランティアや旅の放浪記と続く。

ボランティアと言っても参加費と交通費を自弁し山仕事や草刈りを行う。その描写に特に威張ったり自慢したりする話は出てこない。まるで「仏様？」

旅の放浪記と書くと有名観光地を想像するが「ローカル線に乗ろう」がキャッチフレーズ。赤字路線を利用し、今にも潰れそうな民宿に泊まる。7万円もの接待料理を食べ、今後の日本は…などウンチクを講ずる高級官僚より、よほど過疎地域を心配している。力仕事を行い、人が行かないところを尋ね、足で稼いで原稿を書く。面白いことが2点ある。一つは必ず食べた料理の内容が書かれていること。それも詳細に…

二つ目は、自分の体験(投稿)した分は肉筆(鉛筆書き)であること。『雑報縄文』『ITより逢いてえ』と言うがごとく、読者の皆さん、もうお判りでしょう！83歳になる鉄人・鈴木編集長もパソコンには弱いのです。でも、この鉛筆書きの文字に暖かさを感じるのは何故でしょう！希望の方は郵便局で00100-2-20630「雑報友の会」へ払い込んで下さい。購読料は年間4,000円。おっとっと！鈴木さんはスマホも携帯も持っていない。電話とファックスは兼用している。固定電話にかけても必ず留守だ。連絡取りたい方は、ファックスかハガキだネ。043-291-2917



ドリーム廃刊😞残念・・・近況報告ピアノ、カラス君について①

牧場のハイジ(北海道浜中町)

ドリームも、とうとう廃刊になる。二月号にバツサリ結とするとのお話にも、少し私は複雑な気分三月号で廃刊なんだ！残念！

読者の皆さんも、とても悲しくなっているのではないだろうか？一番泣いているのは、洋子さんかもしれない？コロナで何もかもが生活スタイルが変わってしまいました。私も、お買い物すら行かなくなったのだから。コープさっぽろの宅配で一週間分を注文して、また一週間と本当に友人ともなかなか会えない。自粛生活です

愛犬2匹、ポロとポメ(ポメラニアン)この頃ポメを(高脇さん)と呼んでます。(高脇さん)と呼ぶと飛んできます。我ながら可笑しくなってくる。笑ってしまう。でも楽しい。広い大地で、高脇さんを思い切り走らせ、ポロは玄関前で、私たちの散歩からの帰りを待っています。本当におとなしく待ってます。昨日も雪が降り雨になり、夕方から又雪に真冬の寒さがかえってきました。今朝は木々に氷のキラキラ、とても綺麗です。空は青く空気も澄み切ります。

ピアノ教室も、一月は動画レッスン、二月も、でも下旬に国道は雪が解けて、何とか中標津にレッスンに通えました。でも…ピアノ間違えてばかりで先生の機嫌が悪かった？…(子供だったら？アウトです。)即反論…(破門ですね。どうぞいつでも破門してくださいってよろしいですから)…レッスン帰り雪が勢いよく降ってきて、視界不良…最悪！せっかく道路に雪がなくなったと思ったのに。もうレッスン休もう。辞めるかなの気持ち。最悪！…

辞めないけど！実は音楽好きな、まったく楽譜も読めない素人4人でシニアアンサ

ンプルを立ち上げたのです。私はピアノ、67歳女性トランペットを何故か2年前にアマゾンで買って、なぜ？トランペットだったのか？未だ吹けない・・・ハーモニカ、オカリナに変えて吹く練習をしている。70歳女性木琴がやりたくて、私に木琴を買ってほしいと！いま、木琴を待っている。73歳女性オカリナを持っていて、今オカリナのドレミの練習をしている。4人で、(きらきら星三重奏)を秋に合奏演奏出来たらよいね。私はピアノ伴奏担当に。4月からピアノ教室で(きらきらぼし)の伴奏を先生から習うことになると思う。67歳の女性がトランペットは、今吹けなくても練習はやりたい、あの世に行っても練習する！凄いな、あっぱれ！読者の方一年後シニアアンサンプルはどうなったのか？(きらきら星三重奏)合奏できたのか？私のピアノ伴奏どこまで上達したのか？気になりませんか？

情報発信は、洋子さんにはしていきますので。気になる方は、洋子さんにお尋ねください。



カラスのお話を少しだけ①

3年前まではカラスは好きでなかったのですが、牛舎に来ては牛の餌を食べにくる、カアカアうるさい。小鳥丸が生まれると林の上から私たちを見つけると上から頭を目掛けて低空飛行襲ってくる。頭に棒をたてて、歩いていました。本当に嫌だった。ポロと散歩してても、カラスはポロをめがけて襲ってくる。牛飼いをやめてから、カラスも牛舎にこなくなりました。牛舎もすっかり壊しました。自分たちで建てた牛舎を壊すとき、涙が止まりませんでした。牛を売る時も言葉では言えない、ポツンと牛のいなくなった牛舎に私は立っていた。夫のほうが私以上に辛かったと思う。私が大病を患い、札幌の病院で治療が始まり、計画がすべてくるってしまったのだから。一人で牛飼いの仕事、酪農はできない。夫も呼吸器を患い20年それでも頑張ってきた。しかし一人では酪農は無理。私が倒れて三年後に酪農をやめる決心を夫はしました。辛かったとおもう。やめてから8年が経ちました。カラスも数は減ってきてるが、高脇家のカラスがいる。ワンちゃんの鳴き方をするカラスがいるんですよ。ポロと(高脇さん)と散歩していると3年前から不思議なことにカラスも大地に降りてきて、私たちのそばを遠からず、近からず、距離をおいて散歩に同伴するようになったのです。カラス2羽がです。私たちの散歩に参加するようになってきたのです。不思議!ある日散歩に歩いていると、カラス2羽がトコトコ私のそばに近づいては、少し後退を繰り返すのである(えっ、嘘)と、びっくり!この日から、カラス2羽も参加です。私がワンちゃんたちを引き連れて歩き出すと、林から2羽のカラスがまず牧草地に降りてき

ます。虫を食べてるのか?

私は、カラスに声かけをすることにしました。(お-い!カラスよと!)半年はこの状態でカラスとは、すこし距離をとっていました。半年がすぎてこれは、試しにお友達になるかと!カラスはとても頭が良い。賢い。私はカラスに、電線で止まっていた時、散歩途中、カラスに向かって話し始めた。(こんにちは)(いい天気だね)(君は毎日なにをしてるの?)と。黙って聞いている。逃げない。

次の日も、次の日も声掛けである。半年が過ぎたころ、わんちゃんのおやつをジャーキを2羽に1本ずつ、初めて私の近くに置いた。トコトコ歩いて、口にくわえて、牧草地に飛んでいって食べた。次の日林に向かって、(カラスよと!散歩に行くよ)林から2羽が飛んでくる。一年後、この2羽に名前を付けようと思った。カラスから(カラス君)に格上げし、呼び方を変えました。

「ドリーム」2月号届きました。起承転結、次号で廃刊となっていますが、これは発展的解消で続編があるのでしょうか…と、言うことでひとまず本当にご苦勞様でした。

私には短い期間でしたが充分に楽しく勉強させていただきました。今後のご活躍を期待しています。「オッカナイ」様によろしくお伝えください。

甲斐一孝(熊本県山都町)

☆ 甲斐さんは江津湖療育園の看護部長でした。入所している園生は甲斐さんと接するのが楽しみでした。俳句と切り絵を楽しまれています。早く読者になってもらうべきだったと今になって反省です。

今年1月15日北海道新聞の記事が気になった。カラスのことが掲載されていたのです。英国ロンドン塔で飼育しているカラス1羽が行方不明死んだ恐れがあると発表した。私は、気になる記事だなあと英国ロンドン塔でカラスを飼育しているのは、皆さんご存じですか？私は知りませんでした。英国には、ロンドン塔にカラスが6羽そろってないと国が崩壊するという伝承があるのです。国の命運を握るカラスについて、いかなる時も塔に6羽そろえておくよう義務付ける勅命が17世紀に出されている。折しも英国は、新型コロナウイルスでのパンデミックと欧州連合からの離脱ですでに打ちのめされている。ただ、ロンドン塔には今なお7羽のカラスがいる。勅命による6羽に加えてまだ、予備の1羽が残っている。だから今のところは、英国は大丈夫という記事だった。

カラスは、本当に頭がいいです。昨年春から、カラス君が5羽になりました。ここから、カラス君と私のお友達会話ははじまっていくのです。

また、長くなるので、この会話のやりとりのお話は、洋子さんに情報発信していきますので、気になるお方は、洋子さんにどうぞ情報提供をしてもらってくださいね。

これまで、私なりに北海道の四季をまじえながら、日常のお話を書いて投稿してまいりました。皆さんと文字での交流でしたけど、情報が得られました。ありがとうございました。この絆は大切にしていきたいとおもっております。

高木さん、おつかれさまでした。わたしの



原稿編集しないで、このまま載せてください
ね。ありがとうございました。

北海道厚岸郡浜中町西円朱別西 16-107

高脇 留美子

poro.rabu.434rumi@bell.ocn.ne.jp

高脇さんへ

大阪の看護師さんから北の大地・北海道に移住し酪農を経営する傍ら、地域のリーダーとして農畜産物加工品等を作り上げてきましたネ。それに加え「ドリーム」まで育てていただきありがとうございました。

昨年の6月「全国重症心身障害児(者)を守る会」の全国大会が札幌市で開催予定でした。全国大会終了後は、石北本線、釧網本線を利用し、ひょっこり高脇さんに会いに行き驚かせようと計画していました。結局、コロナの関係で全国大会が中止となり、幻の再会となりました。

お互いに大病を患い、今後は「病気仲間」でもあります。

北の大地の中で、愛犬やカラスと戯れている姿を想像しています。そして、ピアノレッスンに悪戦苦闘している姿も…。今後ともお付き合いの程はよろしくネ。

こんにちは！最初で最後の便りを書きました。

「小国の徳野スクールに行くから一緒に行きましょう！」と、今は亡き和田芳治さん(当時逆手塾塾長)に誘われたのがきっかけで、ドリーム(高木編集長)との出会いとなりました。

人と人との繋がりができ始め、隣町の岡垣町の『グラノ24K』オーナーの小役丸さんの『ぶどうの樹』で地域の仲間や中学時代の同窓会を開催、水俣の愛林館では沢畑亨さんから、竹炭作り、食べられる野草の天ぷら作りを教えていただき、色々な体験等を行うことができました。人から人へと繋がり、皆さんの良いところをつまみ食いし、そのノウハウを地域の活動に活用し、シニアクラブの仲間と楽しい時間を過ごさせてもらっています。

今、庭の沈丁花が満開で、庭にいい香りを漂わせてくれています。半分に切ったみかんを竹串に刺して、メジロやひよの餌づくりを作り、少し離れた所から野鳥の姿を眺めて穏やかな日課を楽しんでいます。

2012年7月、(再雇用契約満了の1カ月前)、「来月の円満退社が叶うよう、後任が全ての仕事を覚えるよう、ただ入社するだけで仕事の監督をして欲しい。」と上司(所長)に要請されました。ただ、顔を出すだけで何も仕事をらしい仕事はしないのに、両手が痺れるようになってきました。

ホームドクターや医師数人に診てもらった結果、脊椎の病と判明。頸椎の4～7番が変形し潰れ、中の神経が圧迫されて痺れを発症する「脊椎頸椎変性症」。翌年5月、和白病院で痺れを取り除く施術。手術は(痛みもなく)無事成功でしたが、両手の痺れは取れません。後遺症で筋肉の硬直が有り、睡眠明けの朝方は身体全体の筋肉が固くなったままです。筋肉のかたまりをほぐすリハビリとウォーキングが日課となりました。

丸9年間、リハビリを継続したお陰で施術後できなかったウォーキングも現在は小走りができるまでに復活しました。医療関係者、地域の皆さんの支えのお陰です。「感謝」「感謝」…

高木さんとの縁結びをしてくれた和田芳治さん。今月12日にはその和田さんの3回忌の命日です。当日は広島県庄原市まで足を延ばしお礼の墓参り、帰路には山陰益田の温泉に1泊して奥さん孝行を…と考えています。ドリームへの感謝の気持ちと同時に近況でした。新しいミニコミ誌を期待しています。

藤崎克生

〒811-4146 福岡県宗像市赤間4丁目6-11

タツヨシの俳句コーナー

2021年3月10日

上州倉淵村フラワービレッジ 農業主 近藤 龍良

夢繋ぐ サヨナラのない 卒業式

長い間楽しいドリームを続けていただきありがとうございました。また、毎回あほらしい下手くそな俳句コーナーをご覧の皆さんには感謝感謝です。

毎月末頃にはドリームが送られてこないかと心待ちしていたことが無くなるかと思うと、寂しい限りですが、編集されるご苦勞を考えると無理を申す訳にはいきませんね。

でも読者の心を繋いだドリームは「永遠に不滅」です。と格好の良いことを言ってしまいましたが、これは長嶋茂雄さんの言葉です。実は長嶋茂雄さんは我が農場へ何度も訪れてくれ、農場の中には自筆の記念碑も建っていて、彼は我が農場の応援団長なんです。

考えてみれば、高木編集長とは色んな縁がありますが、一つには障害のある子を授かっていること、もう一つは「オッカナーサー」元帥の存在です。何よりも女尊男卑の家風の改革を進めるには、強力な提携活動が必要です。

決して「サヨナラ」などのない卒業式にしていきたいと思います。

夢から夢へ 百年時代の 春の空

小生も今年で86歳になります。子供の頃80を超えた人などは稀にしかなくて亡霊のように感じたものですが、それも超えた自分を省りみると何だか妙に思えてきます。しかし、現代は人生100年時代とも言われています。そうなんです。今や生き甲斐は年齢ではないのです。いつも夢を持って生きていくことを「ドリーム」から教わったではありませんか！うちのカミさんなんか「毎回買ってくる宝くじが当たったらどうしよう？があなたの夢」だと、思っているようですがとんでもないことです。

身体的には、編集長を見習って毎朝山道を6~7千歩の散歩、週2回のゴルフと温泉です。今週もすでに3回のホールインワン(ただしグランドゴルフ)。頭の体操は月50句の俳句づくりとコンサート。あぁ~忙しい！いそがしい！

さぁ！皆さんも一緒に春の空に向かって夢を飛ばしていきましょう。
また会う日を楽しみに！ お元気で！

こんにちは！今ドリーム2月号が届きました。長い間ありがとうございました。

思い起こせば平成10年12月16日、九州農政局で九州地域農家諸問題研究協議会が開催されました。私は大分県から参加しました。この会議のどこかに高木さんがいらっしゃいました。初めての出会いとなった、と知ったのは後に送られてきた高木さんからの感想文でした。あれから20年。一口では語れない20年間でした。楽しませていただきました。本当にありがとうございました！！

新しいミニコミ誌を楽しみにしています。

大分県豊後高田市 ぶどうとネギ栽培 和泉やす子

☆和泉さんは「馬鹿者」の背中を押してくれた一人でした。農政局の課長がやっていた阿蘇のリンゴ園で課長に内緒でリンゴをちぎりましましたネ。カリスマのある地域リーダーの模範みたいな和泉さん。あれから20年。お互いに孫が高校生。また、尋ねて行きたいなあ～

高木様

「振り込まないで」を見てジョークかと思っていましたが、本当に廃刊なんですね。投稿もせず長い間楽しませていただきありがとうございました。大きな病気の時も休むことなく病状を克明に記録、報告されていたのには脱帽でした。もし私があの状態だったら落ち込んで何も手につかなかったとおもいます。1月号の笑顔と感謝を読んで高木さんの思いがよく分ります。

歩け歩けの一年間の素晴らしい川柳、楽しく読ませていただきました。20年間お疲れ様でした。感謝の気持ちを込めて少しばかりですが甘酒など送りましたのでどうぞお召し上がり下さい。奥様にもよろしくお伝えください。

平野フキ(横浜市大熊町「落の道草」の名前で農産加工品提供)

☆ 大分の和泉さんを通じ、埼玉の尾崎千恵子さんと知り合い、そして平野さんへと辿り着きました。「人間は出逢うべき人には必ず逢える。一瞬遅からず一瞬早からず」の言葉通りです。その後、熊本空港で出会い、兄弟旅行中にもかかわら再会し、佐藤洋子さんと横浜の自宅まで押しかけましたネ。その後は親戚の姉さんに会うような感じで「東京ドリーム読者の集い」で語り合いました。いつの頃からか、平野さんの姿を見て、あんな風に年齢を重ねたいなあ～と心の中で思っていました。悪性リンパ腫を患っている時、送られてきた飲む点滴と言われている甘酒の味も忘れません！ありがとうございました。

ドリーム通算第242号ありがとうございました。

立春も過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだ暖房器具から離れることはできません。年齢のせいかな年々暑さ寒さが身に染みるようです。

去年は新型コロナで始まり新型コロナで終わった1年でした。幸いコロナの餌食にはなりませんでしたが、全く気の休まぬ1年でした。今年はワクチンの接種が始まりそうですが、数年はかかると予想されたワクチンの開発が1年で済むとは？人類の英知を信じ穏やかな日々の到来が近いことを楽しみに暫らく三密を避け頑張ろうと思います。

それにしても新型コロナウイルスは厄介なものようです。細菌やウイルスも地球生態系の一員で、コロナは人類に自覚を促すために、神(地球)が遣わした使者ではないのではないのでしょうか？食物連鎖の頂点にある人類の気ままな経済行為で地球に過酷な負荷を掛け、生態系破壊・大気汚染はもとより地球温暖化、各地で多発している異常気象や大災害等々により警鐘を鳴らしているのではないかと思わずにはおられません。我が国にコロナがやって来て三密が叫ばれましたが、この間、政府与党が打ち出した対策は後手後手の自助努力を求めるのみだったような気がします。

そもそもコロナ担当が厚生労働大臣でなく経済再生担当大臣が任命された時点で、これは少し変だなあ〜、菅内閣はコロナ対策よりも経済優先なのだなあと感じました。高齢で基礎疾患を抱える身では三密を回避し、退職後楽しんできたコンサート、講演会、セミナー、体験教室等々は中止になったり延期になりました。開催されたものの中には、既にチケット購入済みのものもありましたが、三密を回避するため参加しませんでした。今年の年賀状の中に、和歌山県職員時代の同僚Y氏から「GOT Oコロナの種を蒔き、補助金でする後始末」、さらにU氏からは

- ウォーキングとラジオ体操で健康管理をしています。
- 新型コロナウイルスと上手につき合うことが大切で
- どうしても三密回避、手洗い、マスクの着用と室内の換気を
- しっかり守りながらこの1年を乗り切ろう！

というのを頂きました。

ポールウォーキングとリハビリで健康管理し、三密回避、手洗い、マスク着用と室内の換気をやってワクチンの効果に期待し過ごしていこうと思っています。

令和3年2月7日

佐藤 洋子 様

鐘ヶ江 誠

水仙が咲き香り、ウグイスの声が聞かれるようになりました。毎回ドリームを送っていただきありがとうございます。ポストに分厚い封筒が入っていると直ぐに封を切り読ませていただきました。次回で終了とのこと残念です。自分は1回の投稿も出来ずにいましたこと反省しています。しばらくの間の会員でありましたが多くの方々の考えや活躍を知ることができました。

私は、狭い庭先の畑で少しの野菜を育てストレス解消しています。どんな世でも食べていかねばなりません。農業の大切さを感じました。身体の続く限り少しでも何かを育てられたらいいなあ—とっております。高木様のお身体如何でしょうか?どうぞお大事になさって下さい。真一郎君の写真をながめお母様のお姿を思い浮かべながら書きました。

木下祥子(菊池市在住)

- ☆ 木下先生(あえて先生と書きました)は、我が息子(現42歳)が菊池養護学校時代の担任の先生です。地元新聞「熊日」への私の投稿をきっかけに連絡頂き読者になってもらいました。30数年前、障害者の教育・訓練になり振り構わず取り組まれていた姿を想像すると目頭が熱くなります。息子とドリームのお陰で縁が呼び起こされ、また今後も続いていきます。投稿も欲しかったですね(笑)。でも今後ともどうかよろしく願いいたします。

ドリーム来月で廃刊…寂しい限りです!高木さんのことだから、何かがあってスパッと心の変化が起こったとしか思えないんです?

重症心身障害児(者)を守る会の時から高木さんには色々なことを教えていただき助けていただきました。ドリームは止めても障害者の子を持つ親として、これからもよろしくお付き合い下さいね。

また、お身体に気を付けて下さい。20年間本当にお疲れさまでした。高木さんあってのドリーム…たくさんの笑いありがとうございました。

矢城美智子(熊本市)

- ☆ 八城さんは娘さんが天草の「はまゆう療育園」に入所されています。「最も弱い者を一人もれなく守って下さい」「最も弱い者がいないがしろにされると、次の人も切り捨てられます」との思いで重症心身障害児(者)を守る運動を一緒にやってきました。数年前までは、JR熊本駅近くで食事処「白亭」を運営され、ほんわかネットの忘年会はじめ諸会合の拠点として提供頂きました。それも格安料金で…。まだまだ縁が続きます。

ゴージャ洋子の星占い 4月1日~30日



牡羊座	春の陽気に誘われて遠出したくなりますが、(コロナ禍の今)まだご用心。家でまったり吉。	天秤座	高額な家具、電気製品を買う時は、値段を事前に良く調べよう。ネットでなくお店に足を運ぼう。
牡牛座	お庭や畑がある方は、外で庭仕事をすると、運氣上昇。竹の子など不消化な食べ物に注意。	蠍座	暖かくなって、暖房器具や冬物衣類の整理をしよう。
双子座	多忙で帰宅時間も大幅に遅くなりそう。電車やバスを使う方は、忘れ物に注意。	射手座	地域の行事には積極参加で。役員を要請されたら受けよう。
蟹座	家籠りも、あなたは、さほど苦にならないはず。むしろ、運動不足が心配。散歩推奨。	山羊座	新しい趣味、習い事を始めると運氣上昇。
獅子座	環境が激変しそう。転職や転勤などで人間関係も変化。王者の心意気で乗り切ろう!	水瓶座	幸運の神がほほ笑むときがありそう。でも、気は引き締めて。
乙女座	新聞、雑誌など活字に目を通そう。スマホ、パソコンは就寝1時間前迄にしよう。	魚座	アップダウンの激しいとき。消化器系の不調に注意。

ふるさと食農ほんわかネット

理事長：徳野貞雄 熊本大学名誉教授

【事務局】熊本市水前寺4-7-7 エンゼルハイム水前寺103号 ゴージャ洋子

TEL:080-9105-0360 yoko-g@camel.plala.or.jp

「ドリーム」発行責任者：高木正三TEL:090-6897-8572 メールtakaki-masami@outlook.jp

ふるさと食農ほんわかネット 過去も含めて会計報告

会計年度	収入	支出	単年度収支	累 計	備 考
2015	512,337	535,899	▲ 23,562	▲ 23,562	第 185 号で報告
2016	631,000	585,252	45,748	22,186	第 198 号で報告
2017	488,000	526,688	▲ 38,688	▲ 16,502	第 210 号で報告
2018	496,000	522,746	▲ 26,746	▲ 43,248	第 221 号で報告
2019	502,000	556,032	▲ 54,032	▲ 97,280	第 233 号で報告
2020	485,400	520,164	▲ 34,764	▲ 132,044	2021年1月までは実数、2・3月分は前年度と同額計上

会計報告は毎年度の4月号又は5月号で報告してきておりますが、まとめると上表のようになっています。

2015(平成27)年度から単年度赤字経営に陥りました。2016年度は熊本地震が起こり、読者の方々からお見舞金を頂き、一時的に収入が増加しましたが、その後は表のとおりで赤字体質が抜けていません。

「累計赤字はどうするのか～」と言われてそうですが、昨年オカミから頂いた「何とか給付金」の10万円がありました。「何とか給付金」は多くの人のために使う給付金だ…との断りがあったようですので、これを使わさせていただきます。端数はオッカナイ(オ一家内)にすぎるしかありません。言うじゃありませんか!「困ったときのカミ頼み」…と言うことで、ほんわかネットの会計も「ゼロ」で終了させていただきます。

後は、心配や同情などの付度をされることのないようお願いします。また、逆に、何かうまいことをやっているはずだ!などの詮索もしないで下さいネ(笑)

……と書いたところで、徳野貞雄理事長より「そんなことじゃイカン!」とお叱りを受け、恐縮ですが読者の皆さんから「ご寄付」を頂くことにしました。このため今月号に「ふるさと食農ほんわかネット」振込用紙を同封しています。金額を3,000円に訂正し送金いただければ幸いです。

会計担当(高群正春、高木正三)

すっかり ご無沙汰しています。

先月のドリーム244号で廃刊とのご連絡を頂きました。ご連絡が大変遅くなり、失礼しました。

ドリームの20年に亘る発行のご努力に敬服します。私が熊本農政局を離れてからももう16年も経ちますが、この間九州はもとより各地の様々な便りをお送り頂き、編集長の毎号感心する巻頭言、洋子さんの季節の便り、タツヨシさんの俳句、そして多くの方の原稿などを掲載されたドリームは、毎号楽しみにしており、大変有難い情報でした。

私は、殆ど貢献することは出来ませんでした。高木さんの大病、洋子さんの体調、また、熊本地震や九州の豪雨災害等の中で、20年も続けられたのは、ひとえに高木さんと洋子さんのご尽力の賜物と思います。廃刊は大変寂しく思いますが、改めて感謝申し上げます。

新しいコミュニティ誌を作られるとのこと、引き続きご活躍を祈念します。

今年は新型コロナウイルスの感染で、中々身動きもできず、家内の100才になる母がいる宇城市の介護施設も面会が出来ないので、私達家族も熊本に行くことが出来ません。私の仕事も小さな団体なのでテレワークばかりとはいかず、週4日程は出勤していますが、東京の感染者数は下げ止まりなので、落ち着きません。

一刻も早く新型コロナウイルスの感染が収束し、願わくば東京オリンピック・パラリンピックが無事開催することを期待し、お二人のご健勝とご発展を祈念します。

やっと暖かくなって来ましたが、寒暖差もあるので、ご自愛ください。

東京都杉並区 戸谷 亨

☆ 戸谷さんは九州農政局の次長を勤められました。文章にもあるように奥さんが熊本出身でもあり、愛着を持たれ熊本県農業の応援団的でした。東京での「ドリーム読者の集い」には少し遅くなくても必ず顔を出され、初対面の人でもすぐ和やかになっていました。第2のふるさと熊本に帰郷する時は、是非声をかけて下さい。ゴーヤ洋子さんともども馳せ参じますヨ。ありがとうございました。



高木編集長 洋子様

長い間、ありがとうございます。そして、お疲れ様でした。

熊本と秋田。何の縁も無さそうですが、恩師の青木辰司先生からドリームを紹介して貰ってからの縁、大分経ちましたね。

熊本にも行かせてもらい、高木さん、洋子さんにもお会いする事が出来ました。国家公務員なのに気さくな高木さん。ちょっと知的な感じの洋子さん。山猫屋での催しは旅の気分も手伝って、とてもとても楽しい一夜でした。山猫屋の帰り道、月と熊本城が頭上にふんわりと浮かび上がる様に見えていたこと、今でも思い出します。

あれから、高木さん、洋子さんには沢山心配して頂きました。特に、主人が病気、そして帰らぬ人になってしまった時にも心暖まる事ばかり……。

いつも、〇〇してもらって……。心配してやらなければいけないのに、ごめんなさい。自分のことで精一杯でごめんなさい。今回も、もう終わってしまうと焦りながらも、なかなか投稿出来ずにいました。ドリームは終わっても、今までの縁はこのままだと信じています。

高木さんは、一度秋田に来てくれました。また、いつか来てくれるかも知れません。洋子さんも来てくれるかも知れません。私がまた熊本に行くかも知れません。その時は、よろしく願いいたします。

今まで本当にありがとうございました。

竹原まゆみ

〒大 019-1701 仙市神宮寺八石101

メールアドレス takehara.hiromi@amber.plala.or.jp

☆ 2004(平成16)年水俣市で開催された「GT全国ネットワーク熊本大会」に竹原さんは秋田県から参加されました。前日の夜に「山猫屋」において開催した交流会に、「農政局長(当時は大串さん)、農家の人たち、大学教授(徳野先生のことだと思う)、事業を行っている異業種の方々が一堂に会したことに嬉しさと驚き…」と書道家と思われるような綺麗な字でメッセージを寄せてくれました。

ご主人は友人たちと共同作業の組織を立ち上げたばかりの時に帰らぬ人となり、コメを主体とした専業農家で竹原さんは苦勞されています。多分、今回のメッセージにも行間に竹原さんの涙を感じました。佐藤洋子さんファミリーを主体とした次の「ドリーム part II」でも縁は繋げていきますヨ。それでも今までありがとうございました。

どっこい、ドリーム、続いていくよ！

ゴーヤー洋子(ほんわかネット事務局長)

先月号のドリームは、読者の皆さんにとって、さぞ、ショックだった事でしょう。元熊本県知事だった、潮谷義子さんから、お葉書を頂きました。ご本人のご了解を得ていませんが、お許し頂けるでしょう。以下、ご紹介します。

「エッと目を疑っています。廃刊予告だなんて信じられません。毎号、楽しくさまざまなお出来事、率直な話、とりわけ、高木さんと洋子さんの人柄あふれるコンビから放たれている質のよい内容を大事に読んできました。勿論、投稿されている方々の内容も心地よく響いていました。どうなる？どうする？どうすれば…？」



潮谷義子さん

残念な気持ち

いや〜、小さな葉書に、きちんとまとまった趣旨、無駄のない言葉。下書きなしで、これだけ無駄なく、簡潔にお書きになるなんて、さすが！脱帽です。とても、真似出来ません。私なんて、葉書に何か書こうものなら、だらだら書いて、最後の方はスペースが足りなくなって、小さな、虫メガネで見ないといけないような字で書いて、「あ〜あ、今日も失敗したなあ」と思いながらその葉書を出すのです。それに比べて潮谷さんのお葉書は…お手本のよう。だけど、読むと、潮谷さんの、「残念だ」というお気持ちがひしひしと伝わってきます。

ドリームをお送りすると、折に触れて読後感をこうやって送って下さいました。お礼申し上げます。

実はショックは、私も大いに感じております。廃刊する、という話は最近

聞いたばかりですか

ら。でも、20年間毎月発行してきた高木さんに、今は、ご苦労さまと言いたいです。どんなに、回りが淋しい、と言っても、もう、彼の発行意欲は奮い立たないのでしょうか。疲れちゃったのかな…これまで、本当に有難う。感謝してもし尽くしません。

高木さんは私に、北で南で、首都圏で野菜果物、米作りやジャムなどの加工品作りに頑張っている方々、新しい麦や小麦の品種の育種に打ち込んでいる方、牛の肥育に夢を掛けている方、などなどを知り合わせてくれました。



脳裏に浮かぶ多くの人

そのかけがいのない、人々の中の1人に高脇留美子さんがいます。ニックネームが「牧場のハイジ」という名前だということも、ドリームで、程なく知りました。どうも、北海道で、牧場



右の帽子姿がハイジ、左が私

やっているといるらしい。彼女の書く文は率直で、ユーモア

もあり、しかも、そこが一番の魅力ですが、北の大地の香りが吹き抜けてくるような、住んでいる人じゃないと書けない魅力がぷんぷんでした。私は瞬く間にファンとなり、その後、「あしながおじさん」のオファーで、何とその夢見た北の大地、ハイジの住む厚岸郡浜中町の地を踏む事が出来たのでした。「あしながおじさん」に感謝です。

東京ドリーム会も何回もやりましたね。熊本でのドリーム会、最初は私の店で、その後はあちこちでやりました。集まって来る皆さんは、皆、前向きで、明るくて、元気のいい方々ばかりでした。私もそういう皆さんに元気を貰いました。

「ドリーム2」計画

そうだそうだ、毎月の楽しみだった

のに…とがっかりしないで！実は「ドリーム2」を計画しています。

これは、どういうスタイルにするのか、今画策しています。挿絵は、私の次女が描いてくれることになりました。編集は、以前、地元紙のタウンペーパーを作っていた長女がやります。肩の凝らない楽しいものにしたいと思っています。

皆様のご協力を！

そこで、皆さまにお願いがあります。この世の中、何を始めるのも、まず、資金がないといけません。もし、この「ドリーム2」読みたい方は、購読料をお願いしたいのです。現物も見えていないのに、先払いか！と思われる向きもあるでしょう。しかし、私達親子はまるで資金力はなく、皆さまに会費をお願いして、入って来たお金から送料や印刷代を払わないといけません。



若い人の時代感覚

ドリームは、結局、最終的に赤字だったようです。でも、私はそういう訳にはいきません。年会費は4,500円です。エ?前より高いじゃないの!ぼったくり!とびっくりされた方もいるでしょう。確かに高い。しかし、これから、皆さまに会誌をお送りするのは勿論ですが、WEB上でもこの会誌を見られるように、又、いろんな、食と農の情報を発信していこうと思っています。これからは、若い人たちの時代感覚とエネルギーも借りながら、この九州、熊本から食と農の情報を発信していきたいと思います。

そんな私達にどうぞ、力をお貸し下さい。年会費は4,500円ですが、御寄附も大歓迎!発芽したばかりの、細い芽を支援して頂ければこんなに嬉しいことはありません。金額欄の数字を2本線で消して、任意の数字をご記入下さい。

振込用紙を同封しました。「ドリーム2」という名称で作りたいのですが、法人組織でないと、会の名前では登録出来なくなりました。残念ですが。私的に流用などしませんので、ご安心を。

会誌はとりあえず、季刊、年4回です。発行に慣れて来ましたら、隔月まで増やそうと思います。会誌には、食と農の情報、それ以外に会員の方のお作りになった工芸品、手芸作品のご紹介もして販路が広がるお手伝いをしたいと思います。どうぞ、お楽しみに!そして、

高木さん、今迄本当に有難う!コロナ禍の今、慰労会を開くことすら出来ないません。でも、終息したらすぐにでも…では皆さまもどうか、お元気で!

ゴーヤー洋子さんのメールアドレス
yoko-g@camel.plala.or.jp

高木様

これまで毎月ドリームを届けていただき、どうもありがとうございました。

毎月のお便りもさることながら、実際に熊本や各地でお目にかかったり、東京での集まりに参加させていただいたりで、色々な面でお世話になりありがとうございました。

根っからの無精な性格が災いし、投稿もせず、自分自身はドリームに貢献できず申し訳なく思っています。ドリームは廃刊ということですが、これまで築いてきたネットワークはなくなることはないでしょうから、引き続きよろしく願います。コロナが落ち着いたら熊本や東京あるいは注目される地域を訪れ「同窓会」を開催できたらよいですね。

吉岡慎一

〒344-0061 埼玉県春日部市粕壁3-5-15 TEL:080-5406-4144

MAIL:s.yoshi@pep.ne.jp

☆ 吉岡さんとは九州ツーリズム大学を接点に米田さん等を経て繋がりができました。コロナ終息後「東京ドリーム読者OB会」で、必ず会いましょう!

編 集 後 記

- ☆ 最終号になりながら今月は発行が大幅に遅れました。皆さんにお詫びです。皆さんからたくさんのメッセージを寄こしていただき嬉しい悲鳴を上げながら最後の編集です。
- ☆ メールで、手紙で、ハガキで…便りが届く度に「早まったか？」と今だに葛藤しています。パソコンに打ち込みながら、あの時の写真はないか？と検索し、この人との思い出は？と昔の「ドリーム」を引っ張り出し一人で懐かしみ、これで作業が進まず発行が遅れた原因でもあります。
- ☆ 3月15日(土)、徳野理事長、佐藤洋子事務局長、高木で話し合いの場を持ちました。徳野理事長の「『ドリーム』の卒業を祝して」の通りです。誰からともなく、「あの頃は50代だったなあ～」との言葉が出ました。
- ☆ 佐藤洋子事務局長が毎月記念切手を貼って送付しておりました。大串さんがその記念切手を几帳面に整理してPDFで送付してくれました(P10)。上手く印刷できれば良いのですが…
- ☆ 多くの人たちのお陰で「卒業」することができます。お世話になり鬼籍に入られた方もいます。東京ドリーム読者の集いでは、いつもにこやかだった自称でも他少でもキャロット美人であった尾崎千恵子さん、タイ国チェンマイで一緒だった松野さん、ミカン農家の村上さん…皆さんのおかげで多くの人たちとの絆ができました。感謝です。合唱。
- ☆ 「ドリーム」発行は卒業しますが、何かやっていないと落ち着かない性分。他の人に迷惑を掛らないような、喜ばれるようなものを見つけていきます！
- ☆ 熊本のシニア年代のパソコン仲間では「花立のター坊」と呼ばれています。古稀になってもター坊です。インターネットで「ター坊の愉快的農的生活」の表題で個人的情報を発信しています。是非パソコン又はスマホで検索して下さい。ニヤニヤした姿が現れますヨ。
- ☆ 古い枯葉が落ちれば必ず若い芽が生まれてきます。佐藤洋子ファミリーが主体となり「ドリーム2」の発行予定です。皆さん！是非応援をお願いします。一緒に「ドリーム2」を育てていきましょう！
- ☆ 最後に時々(笑)手伝ってくれたオッカナイにもお礼。ありがとう！皆さんありがとうございました。縁は切れませんからネ



事務局便り

熊本に春を告げる植木市が始まりました。2月8日に始まったのですが、なかなか、行けなくてドリーム2月号には間に合いませんでした。それに、今年はコロナの影響で、飲食は禁止だとか。それで、行く価値あるかしらん、と煩悶。しかし、この440年続く植木市、熊本の春には欠かせません。やはり、行こう！

小雨混じりのちょっと肌寒い日、植木市に出掛けました。入口は1か所、1人1人、例の、頭に器具をかざして体温測定、名前と連絡先を書かないと入れません。ココアのアプリを入れているかと聞かれる。(コロナにかかった人と接触すると知らせてくれるアプリ)あれを、熊本で入れている人、いるかしら？不具合が次々出ているというが。とにかく、様変わりの今年の植木市。お客さんも例年より、少ないようだし、出品業者も減っているようです。私の大好きな蕘コーナーもなし。



まあ、でも、今は全国どんな行事も殆どが中止になるご時世だから、規模は小さくなくても、2月8日から3月14日迄開催されたという事は良かったのではないのでしょうか。主催者は、この植木市からコロナ患者が出ないか、どんなに心配された事でしょう。又、来年も楽しみにしていますよ。

先月は、藤田雅也さんから届いたうどんの食味試験の話を掲載したが、今月はパンの食味試験で～す。誰ですか？僕も職員になって、食味試験に参加したい、という人は(笑)



パンを沢山試食出来ていいなあ～と私も一瞬思ったのですが、バターやジャムなど、何一つつけたらダメなんだそうです。藤田さんのコメントと写真です。「パン試験始まったので、お約束の写真を。小麦粉も少ないので、普通の食パンの半分くらいの山形食パンで試験します。焼色、皮質、形、すだち、触感、食感など、点数つけての食味試験。あと一月もすると、麦の穂が出てくるでしょうから、また忙しいです。」

この食味試験のパンを焼くのに担当の方々は研修受けられたそうですよ。大変ですね。それに、何もつけないパンをこれだけ平らげるというのもきついでしょね。でも、バターなど載せたら惑わされますものね。耳も食べないそうです。

さて、ドリーム、高木さん編集のものは今月で終わりですが、新たな形で再出発します。灯は消えませんが、どうぞ、お楽しみに！